



# 平成31年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年7月9日

上場会社名 株式会社ジェイグループホールディングス

上場取引所 東

コード番号 3063 URL <http://www.jgroup.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新田 二郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 赤工 朝飛

TEL 052-243-0026

四半期報告書提出予定日 平成30年7月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年2月期第1四半期の連結業績(平成30年3月1日～平成30年5月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第1四半期	3,774	1.1	28	219.2	41	380.1	22	
30年2月期第1四半期	3,734	7.8	9		8		0	

(注) 包括利益 31年2月期第1四半期 41百万円 (366.7%) 30年2月期第1四半期 8百万円 ( % )

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第1四半期	2.68	2.63
30年2月期第1四半期	0.06	0.06

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第1四半期	8,951	1,900	20.2
30年2月期	9,035	1,836	19.6

(参考) 自己資本 31年2月期第1四半期 1,809百万円 30年2月期 1,769百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期		1.50		1.50	3.00
31年2月期					
31年2月期(予想)		1.50		1.50	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年2月期の連結業績予想(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,365	1.6	2	35.6	1	94.1	21		2.53
通期	15,300	2.3	150	37.4	160	3.8	50		6.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 有  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年2月期1Q	8,520,600 株	30年2月期	8,496,400 株
期末自己株式数	31年2月期1Q	200,105 株	30年2月期	200,105 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年2月期1Q	8,304,449 株	30年2月期1Q	7,996,365 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用環境の改善が進んでおり、景気は緩やかな回復基調が続いておりますが、海外の政治、経済動向は先行き不透明な状況で推移しております。

外食業界におきましては、原材料価格の上昇や人材不足による人件費関連コストの上昇など、厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと、当社グループでは、直営既存店のリニューアルに注力するとともに、前連結会計年度に連結子会社化した株式会社かわ屋インターナショナルにおいて「博多かわ屋」のフランチャイズ展開に取り組みました。直営店の出退店におきましては、1店舗を新規出店し、6店舗をリニューアルするとともに、4店舗を閉店いたしました。これらにより、平成30年5月末日現在の業態数及び店舗数は、73業態145店舗(国内142店舗、海外3店舗)となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,774百万円(前年同期比1.1%増)、営業利益は28百万円(同219.2%増)、経常利益は41百万円(同380.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は22百万円(同44.4倍)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 飲食事業

原価及び人件費のコストコントロールに注力するとともに、既存店のリニューアルに取り組みました。

新規出店といたしましては、平成30年5月に「山田チカラ NewYork」(米国ニューヨーク州)を新規オープンいたしました。リニューアルでは、平成30年3月に「猿Cafe(サルカフェ)錦店」(名古屋市中区)を「博多かわ屋錦二丁目店」に、「THE KRAZY GARLIC(ザ・クレイジーガーリック)」(東京都豊島区)を「博多かわ屋池袋東口店」に、同年4月に「tantan(タンタン)名駅店」(名古屋市中村区)を「ほろほろ」に、「どなんち静岡呉服町店」(静岡市葵区)を「博多かわ屋静岡呉服町店」に、「串星(クシボシ)」(名古屋市中区)を「博多かわ屋金山店」に、「88huithuit(ユイトユイト)イオンモール岡山店」(岡山県岡山市)を「Mou Mou Cafe(モウモウカフェ)」にリニューアルオープンいたしました。

また、「芋蔵(イモゾウ)芝大門店」(東京都港区)、「PIT TAVERN(ピットタバーン)名駅店」(名古屋市中村区)、「猿Cafe八事店」(名古屋市昭和区)、「TRENCH食堂(トレンチショクドウ)」(名古屋市西区)を閉店いたしました。

その結果、飲食事業における売上高は3,466百万円(前年同期比1.7%増)、営業利益は219百万円(同37.3%増)となりました。

#### ② 不動産事業

テナントビル「ダイヤモンドウェイ」や「G-SEVENS刈谷」、「jG金山」などの賃貸収入が安定的な収益に寄与いたしました。その結果、不動産事業における売上高は500百万円(前年同期比0.1%増)、営業利益は43百万円(同6.9%増)となりました。

#### ③ ブライダル事業

既存施設の収益力向上を図るため、名古屋ルーセントタワー別棟のレストランウェディング施設「LA ETERNITA(ラ・エテルニータ)」(名古屋市西区)を改装いたしました。その結果、改装に伴う営業休止期間が一時的に生じたため、ブライダル事業における売上高は178百万円(前年同期比4.8%減)、営業利益は0百万円(同75.5%減)となりました。

#### ④ その他の事業

販促制作事業及び卸売業等のその他の事業における売上高は208百万円(前年同期比8.1%減)、営業利益は7百万円(同58.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は8,951百万円(前連結会計年度末比83百万円減少)となり、負債は7,051百万円(同147百万円減少)、純資産は1,900百万円(同63百万円増加)となりました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ総額で75百万円減少し1,086百万円となりました。これは、現金及び預金が140百万円減少し、売掛金が85百万円増加したことなどが主な要因であります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ6百万円減少し7,841百万円となりました。これは、店舗の閉店等により差入保証金が22百万円減少したことなどが主な要因であります。

繰延資産につきましては、社債発行費が前連結会計年度末に比べ1百万円減少し24百万円となりました。

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ86百万円増加し3,421百万円となりました。これは、買掛金が52百万円、未払金が58百万円、短期借入金が21百万円増加し、1年内返済予定の長期借入金が37百万円、1年内償還予定の社債が13百万円減少したことなどが主な要因であります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ233百万円減少し3,629百万円となりました。これは、長期借入金が242百万円減少したことなどが主な要因であります。

純資産につきましては、新株予約権の権利行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ10百万円増加、利益剰余金が9百万円、新株予約権が14百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ63百万円増加し1,900百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年2月期の連結業績予想につきまして、平成30年4月9日に公表いたしました業績予想から現時点において変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	357,484	216,608
売掛金	326,169	411,784
商品及び製品	1,690	2,963
原材料及び貯蔵品	114,266	116,868
その他	362,333	338,142
流動資産合計	1,161,945	1,086,366
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,506,441	3,477,107
土地	1,596,223	1,596,223
その他(純額)	716,632	740,983
有形固定資産合計	5,819,296	5,814,313
無形固定資産		
のれん	352,679	344,512
その他	20,693	36,543
無形固定資産合計	373,373	381,056
投資その他の資産		
投資有価証券	8,220	8,220
差入保証金	1,313,536	1,290,823
その他	353,890	367,704
貸倒引当金	△21,145	△21,019
投資その他の資産合計	1,654,501	1,645,729
固定資産合計	7,847,171	7,841,099
繰延資産		
社債発行費	26,057	24,452
繰延資産合計	26,057	24,452
資産合計	9,035,174	8,951,918

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	386,621	439,119
短期借入金	338,900	360,000
1年内返済予定の長期借入金	1,309,837	1,272,385
1年内償還予定の社債	66,000	53,000
未払金	701,952	760,214
未払法人税等	39,379	41,156
賞与引当金	3,192	3,374
株主優待引当金	5,690	15,300
その他	483,888	477,340
流動負債合計	3,335,461	3,421,891
固定負債		
社債	370,000	360,000
長期借入金	2,916,909	2,673,922
資産除去債務	89,091	101,402
その他	487,478	494,612
固定負債合計	3,863,479	3,629,937
負債合計	7,198,940	7,051,828
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,146,969	1,157,115
資本剰余金	1,076,969	1,087,115
利益剰余金	△341,325	△331,495
自己株式	△76,085	△76,085
株主資本合計	1,806,527	1,836,650
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△36,844	△26,762
その他の包括利益累計額合計	△36,844	△26,762
新株予約権	1,638	15,805
非支配株主持分	64,912	74,395
純資産合計	1,836,233	1,900,089
負債純資産合計	9,035,174	8,951,918

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年5月31日)
売上高	3,734,131	3,774,833
売上原価	1,155,184	1,181,995
売上総利益	2,578,947	2,592,838
販売費及び一般管理費	2,569,927	2,564,048
営業利益	9,020	28,789
営業外収益		
受取利息	137	258
協賛金収入	28,510	34,773
設備賃貸料	4,859	4,879
その他	2,234	12,854
営業外収益合計	35,742	52,765
営業外費用		
支払利息	18,637	18,809
為替差損	9,721	14,025
その他	7,801	7,417
営業外費用合計	36,160	40,252
経常利益	8,602	41,303
特別利益		
受取保険金	-	40,989
特別利益合計	-	40,989
特別損失		
店舗閉鎖損失	33	13,461
特別損失合計	33	13,461
税金等調整前四半期純利益	8,568	68,831
法人税等	8,132	37,336
四半期純利益	435	31,494
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△66	9,220
親会社株主に帰属する四半期純利益	502	22,274



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年5月31日)
四半期純利益	435	31,494
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	8,472	10,081
その他の包括利益合計	8,472	10,081
四半期包括利益	8,908	41,576
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,908	32,093
非支配株主に係る四半期包括利益	-	9,483

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間において、新株予約権の権利行使により、資本金が10,146千円、資本準備金が10,146千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が1,157,115千円、資本剰余金が1,087,115千円となっております。

(会計上の見積りの変更)

不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、直近の原状回復費用実績等の新たな情報の入手に伴い、見積りの変更を行いました。見積りの変更による増加額16,893千円を変更前の資産除去債務残高に加算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	飲食	不動産	ブライダル	計				
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	3,388,327	56,650	186,901	3,631,879	102,252	3,734,131	—	3,734,131
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	21,044	443,183	311	464,539	124,362	588,902	△588,902	—
計	3,409,371	499,834	187,213	4,096,419	226,614	4,323,033	△588,902	3,734,131
セグメント利益	159,834	41,135	3,357	204,327	18,067	222,394	△213,374	9,020

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理業や卸売業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△213,374千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年3月1日至平成30年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	飲食	不動産	ブライダル	計				
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	3,442,807	64,519	178,154	3,685,481	89,351	3,774,833	—	3,774,833
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	23,582	435,731	—	459,313	118,874	578,187	△578,187	—
計	3,466,389	500,251	178,154	4,144,794	208,226	4,353,021	△578,187	3,774,833
セグメント利益	219,524	43,958	821	264,305	7,542	271,847	△243,057	28,789

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理業や卸売業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△243,057千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。